



平成21年4月28日

各位

会社名 和興エンジニアリング株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 矢澤 久司  
 (JASDAQ・コード1756)  
 問合せ先 専務取締役経営管理本部長 嶋本 昭洋  
 電話 03-3798-4412

通期業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年11月13日付当社「平成21年3月期第2四半期決算短信」および平成21年2月5日付当社「平成21年3月期第3四半期決算短信」で公表した通期業績予想および期末配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(単位：百万円)

平成21年3月期 通期業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

<連結>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	33,840	200	225	130	8円18銭
今回修正(B)	31,400	△180	△145	△250	△15円73銭
増減額(B-A)	△2,440	△380	△370	△380	——
増減率	△7.2%	—	—	—	——
前期実績 (平成20年3月期)	34,912	491	519	264	16円66銭

<個別>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	32,000	210	225	130	8円18銭
今回修正(B)	29,640	△35	△18	△115	△7円24銭
増減額(B-A)	△2,360	△245	△243	△245	——
増減率	△7.4%	—	—	—	——
前期実績 (平成20年3月期)	34,515	481	503	270	17円02銭

### 【修正の理由】

- ① 第3四半期連結累計期間における業績を踏まえ、第4四半期においては、営業活動の強化、期中における工事完成の促進に取り組んでまいりましたが、景気低迷による情報通信関連工事等を中心とした受注の想定外の伸び悩みにより売上高が連結・個別とも減少いたしました。
- ② 損益面におきましても、連結子会社を含め利益確保に努めてまいりましたが、売上高減少下での固定費の抑制や稼働の偏りに起因する外注費膨張の解消が不徹底に終わったことなどから、営業利益、経常利益および当期純利益は連結・個別とも前回予想を下回る見通しであります。

なお、個別では業績修正に伴い、繰延税金資産の回収可能性を見直したことから、法人税等調整額が増加する見込みであり、連結・個別いずれも当期純利益の下押し要因となる見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、予想には様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

### 2. 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (平成21年2月5日発表)	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 6.00
今回修正予想	—	5.00	5.00
当期実績	0.00	—	—
前期(平成20年3月期)実績	0.00	10.00	10.00

(注) 平成20年3月期の期末配当金には、創立60周年記念配当4円を含んでおります。

### 【修正の理由】

当社グループは、電気通信設備の建設工事を中心とする公共性の高い事業を営んでおり、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、株主に対する利益還元を積極的に努めていくことを基本方針として、安定的な配当を継続することを重視しております。

しかしながら、業績予想の修正に伴い大幅な損失が避けられない見通しとなったことにより配当予想につきましては、誠に遺憾ながら前回予想の6円00銭から5円00銭に修正させていただく予定であります。

### 3. 緊急対策の実施

当社を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況となっており、構造的問題も含めた緊急対策による収益力の回復が喫緊の課題であると判断し、今後、施工体制の抜本的改革、外注費の適正化、在庫管理の徹底および間接諸経費の削減等になお一層強力に取り組むことといたしました。

また、今回業績予想を大幅に下方修正することに伴う経営責任を明確にするため、代表取締役は20%、その他取締役は10%の報酬月額をそれぞれ減額することといたしましたのでお知らせいたします。

以 上